

科目	ゼミナール I (H)	担当	鈴木 愛一郎	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

前期は財務会計とコーポレートファイナンスの基礎を学ぶことを目標とする。基礎理論のひとつおりの学習の後、具体的な事例研究を行って、その成果をプレゼンテーションする。テーマの設定から、実際の分析まで実際に行うことで各人のスキル・レベルのアップを図る。各人のレベルを確認した上で、具体的な目標、方向性を設定し、達成状況をモニターしてゆく。そうすることで、確実にスキルが身に付くような演習としたい。

【履修注意】

個々の授業は全体を支える構成要素である。欠席すれば穴が開き、全体が見えにくくなる。欠席をしないようにすること。

【評価方法】

出席(40%)、発表(30%)、発言・コメント(30%)。とくに他の人の発表に対するコメントを重視する。無断欠席は6回で不合格。20分以上の遅刻は欠席扱い。30分までの遅刻を2回することで欠席1回とカウントする。筆記試験は実施しない。

【試験について】

実施しない。

【予習・復習】

復習に重点を置き、各回のはじめに前回の内容確認を口頭にて行う

【教科書】

使用しない

【参考書】

指定なし

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ゼミの進め方、財務会計とは、コーポレートファイナンス
2	財務会計	基礎理論1 (収益と費用の会計、国際会計基準)
3	財務会計	基礎理論2 (資産会計、負債・資本会計)
4	財務会計	各論 売掛金、買掛金、貸倒損失
5	財務会計	各論 債権、債務、経過勘定
6	財務会計	各論 手形、裏書譲渡、割引
7	財務会計	各論 有価証券、取得と売却、評価
8	まとめ	1-7回のもつとめ、理解度確認、到達度客観テスト
9	コーポレートファイナンス	基礎理論1 (割引現在価値、フリーキャッシュフロー、ROE)
10	コーポレートファイナンス	基礎理論2 (資本コスト、CAPM、リスクとリターン)
11	コーポレートファイナンス	各論 エンタプライズDCF法、APV法、フローとストック
12	コーポレートファイナンス	各論 ROIC、売上高成長率の分析、ケーススタディ
13	コーポレートファイナンス	各論 エコノミック・プロフィット法、DDM、EVA
14	コーポレートファイナンス	各論 WACC、株主資本コスト、負債コスト
15	コーポレートファイナンス	各論 事業価値、株主価値、ケーススタディ
16	まとめ	総復習・理解度確認・総まとめの客観テスト